

センターからのお知らせ

■道路管理技術委員会

(財)北海道道路管理技術センターでは、道路を常時良好な状態に保全し、適切に活用するために調査および研究をするほか、道路災害等が発生し、又は発生するおそれがあるときに、これに迅速かつ適切に対応することを目的として、平成5年度から道路管理技術委員会を設置しています。



専門家の現地調査(国道5号 長万部町)

これまで、この委員会では北海道南西沖、東方沖地震などの発生時に専門家を現地に派遣して被災状況を把握し、復旧のための調査・工法等の提言を行ってきました。

平成10年度からは、北海道内の各大学などの学識経験者19名の方々を委員として組織し、さらに委員会の業務を円滑に実施するために北海道技術士センターに所属する技術士23名を専門技術者として配置するなど、より充実した体制で活動していくことによりしております。

■編集後記 From Editorial Room

- 読者の皆さん、「北の交差点」に関するアンケートどうもありがとうございました。多くの方々から貴重なご意見をいただき、編集一同感謝しています。寄せられた多くの意見を参考としながら、安全で快適な道路環境の創出を目指した技術情報誌にして参りますので、今後ともご意見やご感想をよろしくお願いいたします。また、発行にあたって、多くの方々にお世話になっています。寄稿や座談会など大変お忙しい中、快くお引き受けいただき感謝しています。(N. A)
- 北の交差点第3号の発刊を迎えることができました。今回は道路を利用しているの方々から意見を出していただけたことが特徴かなと思っています。ここで得られた情報から何かを汲み取ってよりよい道路の建設、維持管理のあり方を追求していけるのが私自身の課題の一つでもあると思っています。(A. T)
- 最近、公共事業に対する風当たりが強い。関係者の一人として、なぜ分かってくれないのかと、もどかしく思う。ただし、反省点として、我々の持つ情報のどれだけを積極的にPRしていただろうかと考えると、努力不足も認めざるを得ない。本誌が少しでもその役割を果たせるとしたら、関係者としてこんな幸せなことはない。(M. U)
- この冊子が皆さんの手元に届く頃、白鳥大橋の開通する頃ですね。積雪寒冷かつ強風地域におけるこの長大吊橋の架橋技術は海外からも高く評価され、また維持管理についてもいろいろ工夫されています。これの建設だけでなく地域発展のためにどうあるべきか考えてきた担当者の6月13日は…。(M. T)

「北の交差点」とは…

古来、道が交わる場所では、人々の交流が生まれ、さまざまな文化が育ってきました。「北の交差点」というタイトルは、安全で快適な道路環境の創出を目指して、維持・管理に関係する「人」や「情報」が交流するところをイメージしています。

安全で快適な道路環境の創出を目指す技術情報誌

北の交差点

●1998年4月発行

●発行/財団法人北海道道路管理技術センター

〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目 東京建物札幌ビル6F TEL 011-736-8577 FAX 011-736-8578

●編集・発行人/財団法人北海道道路管理技術センター ●制作/株式会社須田製版C.P.C ●印刷/株式会社須田製版